

1998年10月 口之島の昆虫類

廣 森 敏 昭*

Insects of Kuchino shima, Kagoshima
Prefecture, surveyed in October, 1998

Toshiaki HIROMORI

はじめに

口之島はトカラ列島最大の島で、北緯約 30 度、東経約129度70分に位置し、行政区は十島村に属する。面積13.25km²、周囲13.3km、最高点は前岳の628.3m からなる火山島である。

口之島の昆虫相については、これまでも鹿児島昆虫同好会誌『SATSUMA』に4例ほど調査報告書があるが、ほとんどチョウ・トンボ類が中心であること、離島のせいかいずれも調査が短期間で一時的な調査になりがちなことなど、十分な調査がなされているとは言えない。

筆者は、当館のトカラ列島調査・資料収集活動の一環として、短期間ではあるが調査及び資料収集の機会を得たので、ここにその記録を報告する。

今回の調査にあたり、配車の手配をしていただいた十島村職員の安藤功氏、口之島出張所長の永田定氏に紙面を借りて深くお礼申し上げます。

1 調査方法及び調査日程

捕虫網・毒ビンによる採集、昆虫生態写真撮影 他

10月9日（金） 村営船「としま」にて鹿児島港を出港（22：00 発）。

10日（土） 口之島着（4：30）。西之浜港、集落、向岳から島の東側を中心に調査。
横岳での夜間採集を試みたが、風が強く断念。

11日（日） 島の西～南側を中心に調査。村営船「としま」にて帰港（18：20 発）。

12日（月） 鹿児島港着（1：00）。

2 調査結果

種名の配列及び学名は、平嶋義宏(1989)・日本産昆虫総目録によった。同定はトンボ類の一部を江平憲治氏、直翅類を山下秋厚氏にお願いし、それ以外は筆者が行った。記録の表記は採集個体数（または目撃個体数）と特記事項を中心とした。トンボ類とチョウ類については、これまでの鹿児島昆虫同好会員の調査報告も紹介する。

I トンボ目 ODONATA

イトトンボ科 Agrionidae

- 1 リュウキュウベニイトトンボ *Ceriagrion latericum ryukyuanum* Asahina, 1967
港近くの生コン業者の溜め池に生息していた 目撃・写真撮影

ヤンマ科 Aeschnidae

- 2 ギンヤンマ *Anax parthenope julius* Brauer, 1865 1 ♂
他に港近くの池や田で数頭目撃

トンボ科 Libellulidae

- 3 ハラボソトンボ *Orthetrum sabina sabina* (Drury, 1770) 2 ♂
島内数カ所で確認できた

* 〒892-0853: 鹿児島市城山町 1-1 鹿児島県立博物館

- 4 タイワンシオカラトンボ *Orthetrum glaucum* (Brauer,1865) 1 ♂ 2 ♀
港と集落周辺で数頭目撃
- 5 シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum* (Uhler,1858)
燃岳とタナギ岳の鞍部の野生牛用の溜め池で目撃, 捕獲できず
- 6 ホソミシオカラトンボ *Orthetrum luzonicum* (Brauer,1868) 2 ♂ 口之島初記録種
燃岳とタナギ岳の鞍部の野生牛用の溜め池で♀の産卵行動写真撮影
- 7 ハネビロトンボ *Tramea virginia* (Rambur,1842) 目撃
- 8 ウスバキトンボ *Pantata flavescens* (Fabricius,1798) 1 ♂
島全体に多数生息

トンボ目では, 3科8種を確認できた。

これまでの口之島でのトンボ類の調査は, 下記のとおりである。

種名	調査年・調査者	1974 成見 和總	1989 田中 章	1998 廣 森
イトトンボ科 コフキヒメイトトンボ リュウキュウベニイトトンボ		○ ○	○	○
ヤンマ科 ギンヤンマ リュウキュウギンヤンマ ヤブヤンマ		○ ○ ○		○
トンボ科 ハラボソトンボ タイワンシオカラトンボ シオカラトンボ オオシオカラトンボ ホソミシオカラトンボ ハネビロトンボ ウスバキトンボ マユタテアカネ		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

II ゴキブリ目 BLATTARIA

マダラゴキブリ科 Epilampridae

- 9 マダラゴキブリ *Rhabdoblatta guttigera* (Shiraki,1906) 1頭
集落近くの落ち葉の下で捕獲

III カマキリ目 MANTODEA

カマキリ科 Mantidae

- 10 オオカマキリ *Tenodera aridifolia* (Stoll,1813) 目撃

IV バッタ目 ORTHOPTERA

キリギリス科 Tettigoniidae

- 11 ヒメクダマキモドキ *Phaulula gracilis* (Matsumura et Shiraki,1908) 1♂
コオロギ科 Gryllidae
- 12 タイワンエンマコオロギ *Teleogryllus taiwanemma* (Ohmachi et Matsuura,1951) 幼虫2頭
- 13 ヤチスズ *Pteronemobius ohmachi* (Shiraki,1930) 3♀

バッタ科

- 14 マダラバッタ *Aiolopus tamulus* (Fabricius,1798) 2♂
15 トノサマバッタ *Locusta migratoria* Linnaeus,1758 1♂
16 フキバッタの1種 *Parapodiama sapporensis* 1♂
17 ハネナガイナゴ *Oxya japonica japonica* (Thunberg,1824) 2♂

V カメムシ目 HEMIPTERA

セミ科 Cicadidae

- 18 クロイワツクツク *Meimuna kuroiwae* Matsumura,1917
島内の樹木でさかんに鳴いていた 捕獲はできず

ヘリカメムシ科 Coreidae

- 19 アシビロヘリカメムシ *Leptoglossus australis* (Fabricius,1775) 1頭
沖縄昆虫図鑑によると分布は沖縄諸島以南

ナガカメムシ科

- 20 コマダラナガカメムシ *Spilostethus hospes* (Fabricius,1794) 1頭

サシガメ科 Reduviidae

- 21 キベリヒゲナガサシガメ *Euagoras plagiatus* (Burmeister,1834) 2頭

アメンボ科 Gerridae

- 22 アメンボ *Gerris paludum paludum* (Fabricius,1794)
燃岳とタナギ岳の鞍部の野生牛用の溜め池で数頭目撃

VI コウチュウ目 COLEOPTERA

テントウムシ科 Coccinellidae

- 23 オオフタホシテントウ *Lemnia biplagiata* (Swartz,1808) 2頭
24 ダンダラテントウ *Menochilus sexmaculatus* (Fabricius,1781) 1頭

ゴミムシ科 Harpalidae

- 25 ゴミムシの一種 (未同定) 1頭

ガムシ科 Hydrophilidae

- 26 ツマキハバビロガムシ *Sphaeridium dimidiatum* Gory,1842 1頭
野生牛の糞の中に多数いた

ハネカクシ科

- 27 ハネカクシ科の一種 (未同定) 1頭
野生牛の糞の中に多数いた

ハムシ科 Chrysomelidae

- 28 ハムシの一種 (未同定) 1頭
ウリハムシよりピンクが強く、触覚が黒い 写真撮影

VII 膜翅目 HYMENOPTERA

ツチバチ科 Scoliidae

- 29 コモンツチバチ *Scolia decorata ventralis* Smith,1873 1♂
30 ヒメハラナガツチバチ *Campsomeriella annulata annulata* (Fabricius,1793) 1♂ 1♀

スズメバチ科 Vespidae

- 31 キアシナガバチ *Polistes jokohama radoszkowski* 2♀
32 オオフタオビドロバチ *Anterhynchium flavomarginatum insulicola* Sk.Yamane,1983 1♀

ジガバチ科

- 33 キゴシジガバチ *Sceliphron madraspatanum kohli* Sickmann,1894 1♀

VIII 双翅目 DIPTERA

ハナアブ科 Syrphidae

- 34 ホソヒラタアブ *Episyrphus balteatus* (de Geer,1776) 1頭

ニクバエ科 Sarcophagidae

- 35 ナミニクバエ *Parasarcophaga similis* (Meade,1876) 3頭

- 36 キンバエ *Lucilia caesar* Linnaeus,1758 1頭

ヤドリバエ科 Tachinidae

- 37 セスジハリバエ *Tachina (Eudoromyia) nupta* (Rondani,1859) 写真撮影

IX 鱗翅目 LEPIDOPTERA

チョウ類

セセリチョウ科 HesperIIDae

- 38 チャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthueri* Evans,1937 1♂ (他に多数目撃)

- 39 イチモンジセセリ *Parnara guttata* (Bremer et Grey,1852) 1♂ (他に多数目撃)

- 40 クロセセリ *Notocrypta curvifascia* (C.et R. Fielder,1862) 1頭目撃 初記録

燃岳とタナギ岳の鞍部の野生牛用の溜め池で目撃

アゲハチョウ科 Papilionidae

- 41 アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* (Frhustorfer,1903) 1頭目撃

- 42 モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* Butler,1881 1♀

他にも多数目撃,島のアゲハはほとんどモンキアゲハだった

シジミチョウ科 Lycaenidae

- 43 ウラナミシジミ *Lampides boeticus* (Linnaeus,1767) 1頭目撃

- 44 アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava septentrionalis* Shirozu,1953 写真撮影

- 45 ヤマトシジミ *Zizeeria maha okinawana* (Matsumura,1929) 1♀

カタバミ群落に普通に見られた

※ ムラサキツバメかムラサキシジミ 1頭目撃,どちらかはっきりせず

マダラチョウ科 Danaidae

- 46 カバマダラ *Anosia chrysippus chrysippus* (Linnaeus,1758) 2♀ 口之島初記録

集落のコミュニティセンター近くの池のすぐ上のトウワタ群落に成虫5頭の他,蛹1,幼虫数頭確認。島の南側のセラマ温泉近くの道路沿いの側溝でもトウワタ1本(高さ約70cm)を見つけたが,ここでは食痕も確認できず

- 47 アサギマダラ *Parantica sita nipponica* (Moore,1883) 1頭目撃 1頭捕獲

西側で10日に目撃した個体は取り逃がしたが,11日に東側で目撃した個体は捕獲できたので,マーキングして放す

タテハチョウ科 Nymphalidae

- 48 ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius* (Linnaeus,1763) 1♂1♀

島の東・南側には普通に見られたが,港や集落付近ではほとんど確認できなかった

- 49 ヒメアカタテハ *Cynthia cardui* (Linnaeus,1758) 1頭捕獲

- 50 アカタテハ *Vannessa indica* (Herbst,1794) 1♀

島全体に食草カラムシがあり,島じゅういたるところで確認できた。

- 51 タテハモドキ *Junonia almana almana* (Linnaeus,1758) 1♂,1頭目撃

3日前,本土の incoming 町で採集したのは秋型個体であったが,ここの採集個体は夏型であった

- 52 ルリタテハ *Kaniska canace ishima* (Fruhstorfer,1899)

島内で普通に見られた

チョウ類は,5科15種を確認できた。これまでの口之島でのチョウ類の調査は下記のとおりである。

採集年・者 科・種名	1934		1935		1963		1967		1967		1989		1998		備考		
	中村	倭	江崎	悌三	高橋	昭	石田	昇三	上宮	健吉	有村	用子	田中	章		廣森	敏昭
セセリチョウ科 チャバネセセリ イチモンジセセリ クロセセリ キマダラセセリ												○ ○ ○	○ ○ 目撃		+	+	初
アゲハチョウ科 アオスジアゲハ シロオビアゲハ クロアゲハ ナガサキアゲハ モンキアゲハ カラスアゲハ						○					○ ○		目撃 ○				++
シロチョウ科 モンシロチョウ ツマベニチョウ	○					○		○				○					
シジミチョウ科 ウラナミシジミ アマミウラナミシジミ ヤマトシジミ ルリシジミ							○						目撃 ○ ○				++
マダラチョウ科 カバマダラ アサギマダラ リュウキュウアサギマダラ		○							○		○ ○		○ ○				初 マ-
タテハチョウ科 ツマグロヒョウモン アオタテハモドキ ヒメアカタテハ アカタテハ タテハモドキ ルリタテハ	○					○		○			○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○		+		++ +

- ・ これまで口之島で確認されたチョウ類は6科25種になった。この中でクロセセリとカバマダラは初記録となった。(但 クロセセリは目撃記録)
- ・ 毎回の調査でよく確認されたのはモンキアゲハ、アマミウラナミシジミ、ヤマトシジミ、アサギマダラ、ツマグロヒョウモン、アカタテハ、タテハモドキ、ルリタテハであり、これらは口之島での普通種といえる。

ガ 類

スズメガ科 Sphingidae

- 53 ホシホウジャク *Macroglossum pyrrhosticta* Butler,1875 1 ♀
時季的なものもあるが、多数確認できた

ヒトリガ科 Arctidae

- 54 モンシロモドキ *Nyctemera adversata* (Schaller,1788) 1 頭
55 クワゴマダラヒトリ *Thanatarctia imparilis* (Butler,1877) 1 ♀

メイガ科 Pyralidae

- 56 シロモンノメイガ *Bocchoris inspersalis* (Zeller,1852) 1 頭

ヤガ科

- 57 ユミモンクチバの1種 1 頭

ま と め

- ・ トンボ目3科8種、ゴキブリ目1科1種、カマキリ目1科1種、バッタ目3科7種、カメムシ目5科5種、コウチュウ目5科6種、膜翅目3科5種、双翅目3科4種、鱗翅目9科20種の合計33科57種を確認できた。(捕獲できたものは標本にして博物館資料として収蔵)
- ・ チョウ・トンボ類など、昆虫の生態写真23枚を撮影できた。
- ・ 夜間採集を計画していたが、風が強く実施できなかった。

参 考 文 献

- | | | |
|--------------------------------------|---------------|----------|
| 成見 和總・有村 用子他 | S A T S U M A | 鹿児島昆虫同好会 |
| 石田 昇三・他 (1988) | 日本産トンボ幼虫・成虫図説 | 東海大学出版会 |
| 石原 保 (1990) | 学研生物図鑑 昆虫Ⅲ | 学習研究社 |
| 白水 隆・他 (1974) | 原色昆虫図鑑Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ | 北隆館 |
| 九州大学農学部昆虫学教室,日本野生生物研究センター共同編集 (1989) | | 日本昆虫総目録 |



写真1 リュウキュウベニイトトンボ



写真2 タイワンシオカラトンボ



写真3 アシビロヘリカメムシ



写真4 ホソヒラタアブ

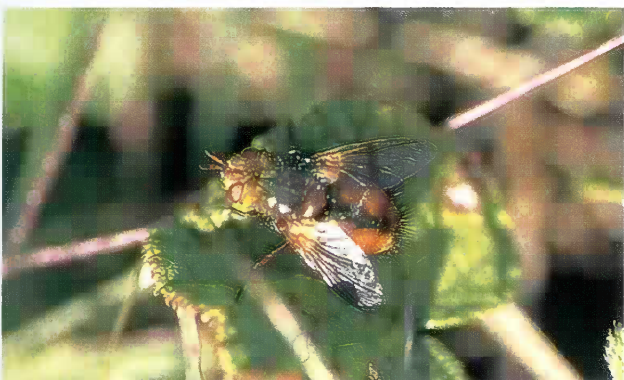


写真5 セスジハリバエ

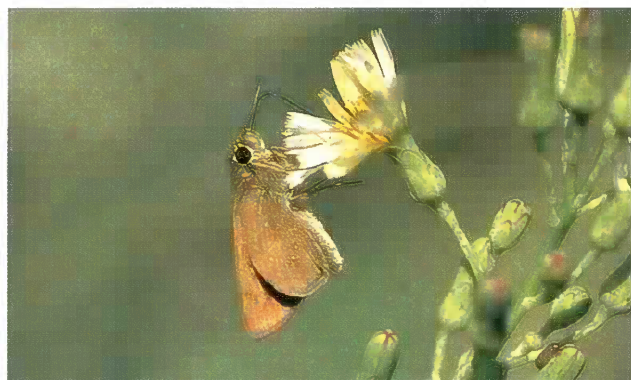


写真6 チャバナセセリ

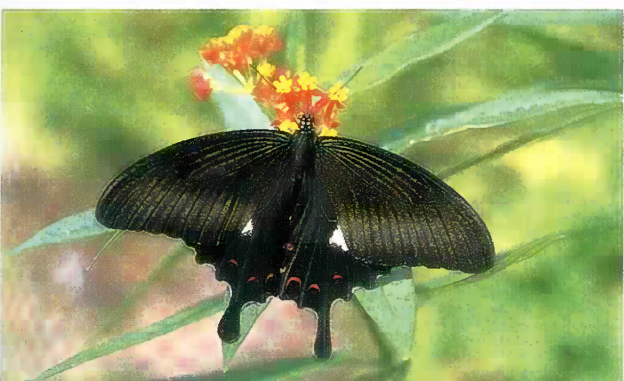


写真7 モンキアゲハ

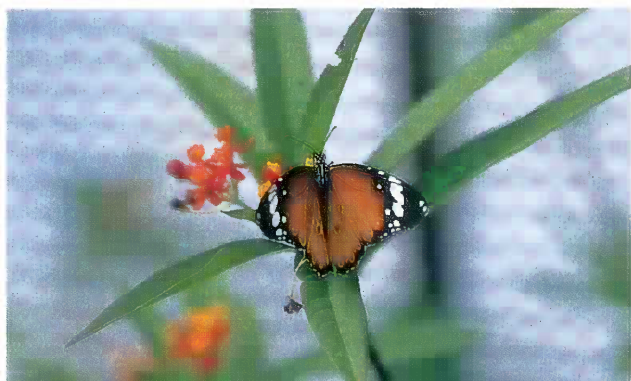


写真8 カバマダラ